

J A 呉農業青壮年連盟 設立



1月20日、J A 呉農業青壮年連盟が設立総会を開き、委員長に大須賀大さん(46)を選任し、規約や活動計画案などを承認しました。

委員長に選ばれた大須賀さんは「呉市・江田島市の農産物の活性化を目指す。多方面から力を貸していただきながら、交流を深め、地域に根差した組織にしよう」と呼び掛けました。

J A 呉の三戸正宏組合長は「新たに大きな力が生まれた。連盟の力、協同の力で農業をけん引してほしい」と話しました。

役員は他に、副委員長に木村勇作さんと山本満彦さん、会計に前本龍治さん、監事に松林佑季さんと長坂光博さんを選任しました。



▲ J A 呉農業青壮年連盟委員長に選ばれた大須賀さん(左)ら役員のみなさん

Youtubeで柑橘PR 動画撮影で「利き柑橘」



2月9日、くれ選果場でYoutube動画の撮影がありました。J Aグループ広島のYoutubeチャンネルで「地産地消」応援広報を担当する声優の「Machiko」さんが県内の「食」「農」「地産地消」の魅力を発信します。

今回は、J A広島果実連の小川哲也技師が出演し、旬の柑橘を目隠して食べ比べ、品種名を当てるという内容です。

「利き柑橘」で旬の柑橘4種類を全問正解した小川技師は「瀬戸内の温暖な気候で育った旬の柑橘を楽しんでほしい」とPRしました。



▲旬の柑橘を目隠しして食べ比べる小川技師

スイートピー出荷最盛



県内最大のスイートピー産地、江田島市の沖・是長地区で出荷がピークを迎えました。

栽培するのは沖スイートピー部会の皆さん。同部会の中井和人さんは5・5aのハウスで2,400株を栽培し、多い日には2,500本を出荷します。

9月に種をまいたスイートピーは最大で5〜6mまで成長するため、畝に立てた支柱に沿って管理しやすい高さにする「つるおろし」作業が重要ですが、茎が折れると商品にならなくなってしまったため、慎重に作業を行います。

中井さんは「華やかなスイートピーで贈る人も貰った人も幸せな気持ちになっしてほしい」と笑顔で話します。



▲慎重に「つるおろし」作業をする中井さん

なるほどえ〜のう! 営農情報

落葉果樹

防除

防除とは、事前に病気や虫の被害から樹や果実を守る(予防する)ことをさします。

防除方法の一つとして薬剤散布があります。その中で殺菌剤のほとんどは治療薬ではなく、被害拡大の防止を目的とした予防薬と違って下さい。また殺虫剤も効果を発揮させるためには発生初期など散布タイミングがあります。

農薬登録されているものはすべて、収穫前日数や使用回数が設けられています。厳守するとともに散布日などの記帳も怠らぬに行なってください。

家庭菜園

スタートの春…3月から5月は野菜の栽培に一番適した時期

春は気温も上がり、多くの野菜の種まき・植え付けの適期となり、本格的な家庭菜園シーズンの到来の時期です。

どこへ何を植えるか迷っている方もいると思います。1年間の流れをあらかじめ決めて意識することで、焦ることなく栽培を始めていくために、どの時期に何の野菜をどこへ植えるかという「作付け計画」を立ててみませんか?

作りたい野菜を考えると計画を立てる

生育に適した環境がそれぞれあり、土壌の乾湿・酸性度・日当たりによって適する野菜は異なります。たとえば、同じナス科でもナスは水分を好みますが、トマトは少し乾燥がみくらのほうが甘いトマトになります。これらの性質で似ている野菜を近くに植えることで、楽に管理できて失敗も減ります。

いちじく

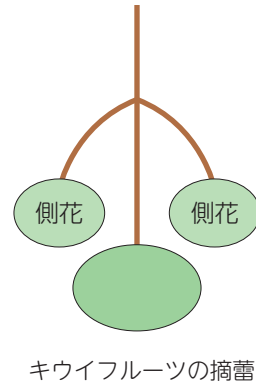
新梢が3・4枚展葉(葉が開く)したころから芽かきを始めます。枝の背中側から発生している芽は強勢になり、樹形や品質を乱しやすいために、側面から発生している芽を残すように心がけます。残す本数は、1mあたり5本程度が目安となります。

また、新梢は放置しておくとしび続けるため、葉数が10〜12枚程度で摘心しましょう。

4月中旬頃はアイノキウムシや5月の下旬頃はカミキリムシの発生が考えられます。対策として「ガットサイドS」の原液又は1・5倍に薄めて主幹部に塗布又は散布してください。また、カミキリムシの食入穴(木くずの様なもの)が穴から出ていたら要注意)を見つけた次第「園芸用キンチョールE」を注入します。

キウイフルーツ

5月中旬には開花が始まりますので、事前に摘蕾を行ないましょう。キウイフルーツは側花を摘蕾します。



キウイフルーツの摘蕾

参考資料: J A 滋賀蒲生町「畑ビギナーズ」

乾湿の相性	
多湿を好む	レンコン、クワイ、セリ など
多湿でも育つ	ミツバ、サトイモ、フキ、セロリ、タマネギ、ナス など
多湿に弱く乾燥地で育つ	ジャガイモ、サツマイモ、ゴボウ、ダイコン、ネギ類、カボチャ、ウリ、ハウレンソウ など
日当たりの相性	
日当たり好き	ウリ類、豆類、サツマイモ、ニガウリ、イチゴ、スイカ、メロン、トマト、ナス、玉ねぎ、キャベツ、結球ハクサイ、根菜類、トウモロコシ など
半日陰でも育つ	サトイモ、ネギ、アスパラガス、ワケギ、ハウレンソウ、小カブ、インゲンマメ、パセリ、セロリ、葉ネギ、ニラ、ミョウガ、ミツバ、フキ、ショウガ など

作付けの株数・面積を決める

畑の大きさによって畝幅などを想定し、植え付け間隔を参考に可能な株数を決めます。その際に、限られた土地しかない家庭菜園では次のような工夫をすると、多種の野菜を植えることができます。

「コンパニオンプランツの隙間栽培」

「コンパニオンプランツ」とは一緒に栽培することで病害虫を抑え、生長を助けるなど良い影響がでる植物の組み合わせのこと。

ブルーベリー

果実の成長期にあたるので、乾燥時はかん水を行なうようにしてください。鳥による被害を受けやすいので、ネットなどで対策を講じることが必要です。ケムシやイラガ・ミノムシなどによる被害も増加し始める時期にあたります。

ブルーベリー栽培では、基本的に農薬を使用しないので、捕殺するようにはしてください。

モモ

モモは花粉が少ない、あるいは全くない品種があります。結実量が少ない樹は人工授粉をしましょう。

モモの着果調節の目安

結果枝(長さ)	1回目(予備摘果)	本摘果	修正摘果
極短果枝(5cm以下)	2~3本に1果	3~4本に1果	
短果枝(5~15cm)			
中果枝(15~30cm)	1本に2~3果	1~2果	1果
長果枝(30~50cm)	1本に4~5果	2~3果	2果
極長果枝(50~100cm)	ほぼ無摘果	7~10果	3~5果

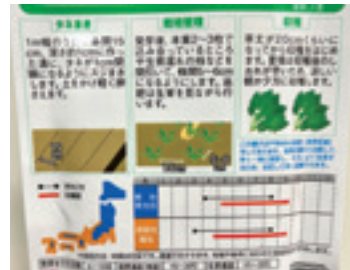
例) ナス科野菜とニラ、ウリ科野菜とネギ、アブラナ科野菜とシシトウ、サトイモとショウガなど

「ベランダや庭での苗づくり」

キャベツ・白菜などの栽培が長期的になる野菜やトマト・ナスなどの播種時期の気温が低すぎる野菜は、集約的な苗づくりをすることで病害虫の発生を効率的に防ぎ、生育のそろう苗づくりができます。

適期を守る

「カレンダーを作ってみる」野菜の種まきや植え付け・生育時期には適期があります。生育適期は、種袋の裏面に気温別、地域ごとの植え付け時期から確認できます。



(例)ハウレンソウの種袋

また、栽培する野菜を決めたら次に育てる野菜の植え付け時期、栽培期間を見てカレンダーを作り、作業が遅れないように気をつけましょう。

カキ

カキの実止まりを促進させるには摘蕾が重要となります。

花が多く着きすぎると養分競合により落果しやすくなります。4月中旬頃から開花期までに1結果枝(蕾が着いている枝)あたり1蕾となるように行ないます。

残す蕾

- ①結果枝の基から2〜3番目の位置
- ②形の良いヘタが4枚揃っている
- ③日焼けしにくい位置(下向きもしくは横向き)

MEMO

1月下旬には寒波が襲来し、一部の地域では積雪により樹体被害も見られました。その年その年の気温によって生育ステージの変化も考えられますので、観察を怠らぬ、事前に備えることが重要です。



Point 連作障害に注意

同じ科の野菜を同じ場所で栽培し続けると、土中の栄養バランスが崩れ、病害虫や菌が増殖し、その科特有の病気(連作障害)を起こします。

連作障害は農薬のほかに、なるべく同じ野菜を連続して同じ場所に植えないようにすることで防ぐことができます。そして、年に1回は堆肥や腐葉土を投入した土づくりで、保肥力のアップや微生物の増殖を促し、肥料分の供給のコントロールができる土壌にしておくことが大切です。

連作障害を特に起こしやすい野菜(例)

科目	野菜	輪作年限
ナス科	トマト・ナス・ピーマン・ジャガイモ など	3~4年
ウリ科	キュウリ・ゴーヤ・カボチャ など	2~3年
マメ科	ラッカセイ・インゲン・ソラマメ など	2~3年
アブラナ科	キャベツ・カブ・ダイコン・ハクサイ など	1~2年
サトイモ科	サトイモ	3~4年

第67回 広島花の祭典

内閣総理大臣賞を含む 16賞を受賞

令和5年2月25日、26日に広島市のゆめタウン広島で「第67回広島花の祭典」が開催されました。

3年ぶりに開催された品評会は県内から109点が出品され、25賞のうち16賞を管内の出品者が受賞する快挙となりました。

受賞者、品名等について以下のとおりです。



村上農園のシクラメン
(フェアリーピコ)



賞名	品目	品種	受賞者名(敬称略)
内閣総理大臣賞	シクラメン	フェアリーピコ	村上農園
農林水産大臣賞	バラ	ジュミリア	田中 明
中国四国農政局長賞	S Pカーネーション	ミヌエット	長坂農園
日本ばら切花協会会長賞	バラ	ブードゥー	田中 明
日本花き卸売市場協会会長賞	スターチス	ファーストレディー	小林農園
日本花き卸売市場協会中国四国支所長賞	ラックス	グレース	田中 智
全国農業協同組合連合会広島県本部長賞	スターチス	バイオレットアイ	小林農園
花満賞	カーネーション	マキアート	楠部 辰一
呉生花市場賞	スターチス	シンジー・シルバ	小滝 正則
広島県花き商業協同組合理事長賞	トルコキキョウ	フィーノブルー	田中 智
NHK広島放送局長賞	シダ類	タマシダ6号	はなぞの野呂高原
中国新聞社賞	バラ	ブランデ	出来 勉
中国放送賞	S Pカーネーション	ウタゲ	楠部 辰一
広島テレビ放送賞	ストック	アーリーアイアンマリン	尙山本農園
広島ホームテレビ賞	カーネーション	セルバンデス	長坂農園
テレビ新広島賞	コチョウラン	ピンク	はなぞの野呂高原

ときめき 女性部通信

自分のいのちを守る 防災研修「住宅火災」について

J A呉女性部下島支部は2月中旬、呉市下蒲刈町で防災研修会を開き、部員や地域住民22人が参加しました。

防災士で広島県自主防災アドバイザーの井上重人さんを講師に招き、自分の身を守る意識を高めるために「住宅火災」について学習しました。

寝たばこやコンセントのたこ足配線の危険性、ストーブなどの使い方など4つの習慣づけと火災警報器や住宅用消火器の設置、避難経路や方法の確認など6つの対策の「いのちを守る10のポイント」や衣類着火などを学び、講師の井上さんは「火災による負傷者は大半が65歳以上。対策、備えを十分にしておいて火災を起こさない、逃げ遅れないように心掛けてほしい」と呼び掛けました。

また、エアゾール式簡易消火具を使って天ぷら油火災の初期消火を全員が体験し、支部長の金原康江さんは「火災や煙の怖さを実感できた。火災は起こさなくても、もらうこともある。家庭で復習、実践し、学んだことを地域で共有したい」と話しました。



▲簡易消火具で消火する金原さん